

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ベネフィット・ワン

コード番号 2412 URL <http://www.benefit-one.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 徳生

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートセンター
部門長兼経営管理部長 (氏名) 小山 茂和

TEL 03-4360-3159

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	10,206	△8.2	1,550	△12.3	1,554	△11.9	966	△5.5
21年3月期第3四半期	11,118	—	1,767	—	1,764	—	1,022	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	4,407.45	4,384.37
21年3月期第3四半期	4,701.90	4,570.18

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	9,469	7,380	7,380	7,380	77.9	33,547.28
21年3月期	11,412	6,834	6,834	6,834	59.9	31,207.28

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 7,380百万円 21年3月期 6,834百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	2,300.00	2,300.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	1.9	2,431	4.2	2,500	4.2	1,510	16.1	6,883.20

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 一社 (社名) 除外 1社 (社名 株式会社ベネフィットワン・パートナーズ)

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 224,800株 21年3月期 223,800株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 4,800株 21年3月期 4,800株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 219,204株 21年3月期第3四半期 217,383株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、依然として厳しい状況にあります。海外経済の改善や経済対策の効果等により、生産・輸出に加え、個人消費においても持ち直しの動きが見られるようになりました。

このような経済状況の下、大企業、官公庁等は、従業員の価値観・ニーズに合致した幅広い福利厚生サービスを効率的に提供するため、福利厚生のアウトソーシングを推進しております。

その中において当社は、法人会員に対して提案営業を推進し、宿泊のみならず育児・介護等ワークライフ・バランスに配慮した福利厚生サービスメニューを拡大しております。

また、「特定健康診査・特定保健指導」等ヘルスケアサービスの拡充を図る一方で、「カスタマー・ロイヤリティ・プログラム（企業顧客満足度向上のための物販およびサービス）」の拡販にも注力し、個人および法人会員への重層的なサービス提供に努めております。

こうした取組みの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,206百万円（前年同四半期比8.2%減）、営業利益は1,550百万円（同12.3%減）、経常利益は1,554百万円（同11.9%減）、四半期純利益は966百万円（同5.5%減）となりました。

なお、当社は、緊密な営業体制の構築、経営資源の効率化を目的に、連結子会社であった株式会社ベネフィットワン・パートナーズ及び株式会社グローバルヘルスケアを平成21年7月1日付けで吸収合併しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比して1,942百万円減少し、9,469百万円となりました。

流動資産においては、1,314百万円減少し5,677百万円となり、これは主に、現金及び預金の減少594百万円、受取手形及び売掛金の減少331百万円、ガイドブック等たな卸資産の減少102百万円、前払費用の減少125百万円、未収入金の減少107百万円によるものであります。

また、固定資産においては、628百万円減少し、3,791百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減少90百万円、無形固定資産の減少235百万円、長期性預金の減少200百万円、敷金保証金の減少68百万円によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末に比して2,488百万円減少し、2,089百万円となりました。

流動負債においては、2,507百万円減少し1,998百万円となり、これは主に買掛金の減少806百万円、未払法人税等の減少567百万円、預り金の減少999百万円によるものであります。

また、固定負債においては、18百万円増加し、90百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比して546百万円増加し、7,380百万円となりました。これは主に、当第3四半期連結累計期間における四半期純利益966百万円、配当金438百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の59.9%から77.9%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比して593百万円減少し、3,229百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因を以下に記載します。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、278百万円（前第3四半期連結累計期間1,081百万円の取得）となりました。

資金増加の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,551百万円等によるものであります。

資金減少の主な内訳は、ガイドブック制作にかかる支出を中心に仕入債務の減少806百万円、預り金の減少999百万円等によるものであります。なお、預り金の減少は、主に特定企業からの余剰預り金939百万円を一括して払い戻した、一過性の要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、114百万円（同1,459百万円の使用）となりました。

資金増加の主な内訳は、敷金の回収92百万円、定期預金の払戻200百万円等によるものであります。

資金減少の主な内訳は、有形固定資産の取得23百万円、無形固定資産の取得161百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、429百万円(同314百万円)となりました。
これは主に、配当金の支払437百万円があったこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間における業績につきましては、概ね予定通り推移しており、平成21年10月27日発表時の通期の業績予想と変更はございません。

なお、連結業績予想における1株当たり当期純利益は、平成22年1月29日までに行使された新株予約権等に基づき算定した期中平均株式数により算出しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

連結除外：株式会社ベネフィットワン・パートナーズ

当社は、当第1四半期末において当社の連結子会社であった株式会社ベネフィットワン・パートナーズを、平成21年7月1日付で吸収合併致しました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,226	3,820
受取手形及び売掛金	1,749	2,080
有価証券	202	202
たな卸資産	139	242
その他	372	663
貸倒引当金	△13	△17
流動資産合計	5,677	6,992
固定資産		
有形固定資産	1,669	1,760
無形固定資産		
のれん	152	205
ソフトウェア	1,149	1,332
その他	8	8
無形固定資産合計	1,310	1,546
投資その他の資産		
その他	812	1,115
貸倒引当金	△0	△2
投資その他の資産合計	811	1,113
固定資産合計	3,791	4,420
資産合計	9,469	11,412
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	762	1,568
未払法人税等	7	574
その他	1,228	2,362
流動負債合計	1,998	4,506
固定負債		
ポイント引当金	54	51
その他	36	20
固定負債合計	90	72
負債合計	2,089	4,578

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,514	1,505
資本剰余金	1,454	1,445
利益剰余金	4,741	4,213
自己株式	△330	△330
株主資本合計	7,379	6,834
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	△0
評価・換算差額等合計	1	△0
純資産合計	7,380	6,834
負債純資産合計	9,469	11,412

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	11,118	10,206
売上原価	6,552	5,891
売上総利益	4,565	4,314
販売費及び一般管理費	2,798	2,764
営業利益	1,767	1,550
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	3	3
受取手数料	0	0
その他	1	1
営業外収益合計	10	7
営業外費用		
持分法による投資損失	6	0
コミットメントフィー	—	2
解約返戻金	2	—
その他	3	0
営業外費用合計	13	3
経常利益	1,764	1,554
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	—	1
その他	—	0
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	27	2
固定資産売却損	0	—
保険解約損	—	0
特別損失合計	28	3
税金等調整前四半期純利益	1,736	1,551
法人税、住民税及び事業税	705	507
法人税等調整額	8	78
法人税等合計	713	585
少数株主利益	0	—
四半期純利益	1,022	966

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,736	1,551
減価償却費	341	477
固定資産除却損	27	2
固定資産売却損益(△は益)	0	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	15	3
持分法による投資損益(△は益)	6	0
受取利息及び受取配当金	△7	△6
支払利息	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	557	334
たな卸資産の増減額(△は増加)	245	102
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,010	△806
預り金の増減額(△は減少)	221	△999
その他	△127	16
小計	2,006	678
利息及び配当金の受取額	7	6
利息の支払額	△0	△0
補助金の受取額	82	107
法人税等の支払額	△1,015	△1,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,081	△278
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△888	△23
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△505	△161
投資有価証券の売却による収入	2	—
敷金の回収による収入	—	92
子会社株式の取得による支出	△31	—
定期預金の払戻による収入	—	200
関係会社の清算による収入	—	15
事業譲受による収入	—	12
その他	△37	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,459	114
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	12	16
配当金の支払額	△324	△437
その他	△2	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△314	△429
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△691	△593
現金及び現金同等物の期首残高	3,774	3,823

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△0	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,082	3,229

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

当社及び連結子会社は、企業の福利厚生代行サービスを中心としたアウトソーシング事業とゲストハウス事業等を行っており、アウトソーシング事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

当社及び連結子会社は、企業の福利厚生代行サービスを中心としたアウトソーシング事業を主な事業としており、アウトソーシング事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

なお、当社は、連結子会社である株式会社ベネフィットワン・パートナーズ及び株式会社グローバルヘルスケアを、平成21年7月1日付で当社を存続会社とする吸収合併を行いましたので、以降の連結子会社はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び海外支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び海外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。